

# 明倫館通信

創刊号

発行：株式会社 銀座明倫館  
〒104-0061 東京都中央区銀座 8-10-7 東成ビル 5F  
フリーコール：0120-133-336

TEL:03-3571-0737 FAX:03-3571-0763

ホームページ：<http://meirinkan.co.jp/>



## 「明倫館通信」発刊のご挨拶

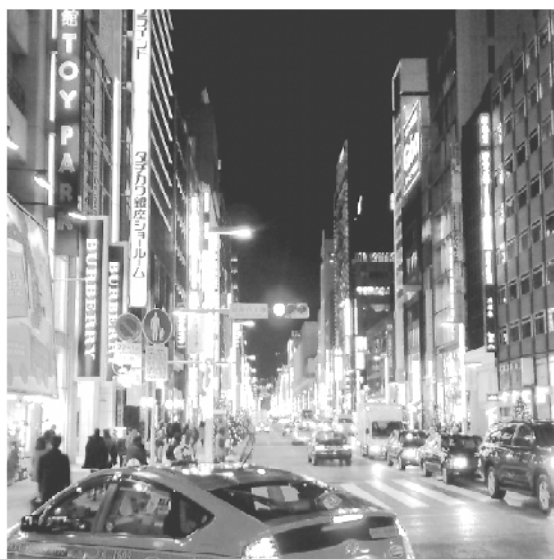
新年をお迎えになり、皆様におかれましては、お健やかに過ごしのことと拝察いたします。

このたび、ご愛顧をいただきましたお客様に、「明倫館通信」といたしまして、弊社の取り組み・東京（銀座）のご紹介・その他お役に立つ情報を、年に2回発信させていただく運びとなりました。お客様からのご寄稿も随時、掲載させていただく予定でございます。是非、ご一読をいただき、ご感想・アドバイスなどをお寄せいただけましたら幸いです。

第一回目は、「東京・銀座の今」をお伝えいたします。

皆様、ご承知のとおり、2020年の夏季オリンピックは東京にて開催されます。銀座も、オリンピックを見据えた開発計画が着々と進んでいるようです。長年親しまれてきた銀座松坂屋が閉店し、その一帯は二年の歳月を費やし、新しい商業地区として生まれ変わります。

銀座の中央通りにおいて毎週末行われている「歩行者天国」は、東京オリンピックが決まる前は、10年前と比べて人が少なくなったという印象を受けておりましたが、オリ



銀座 8丁目より中央通りを望む

ピックの開催が決まった後は、外国人観光客も含めて賑わいを取り戻す傾向にある様です。

戦後の復興を全世界にアピールした1964年の東京オリンピックから、半世紀以上の時を経て、日本は全世界の人々にどのようなメッセージを発信してゆくのでしょうか？

2020年の日本と世界、まだまだ先のような気もいたしますが、きっと、あつという間に訪れることでしょう。時間に流されることのないよう、一日一日を大切にして、銀座がオリンピック色に彩られる時を心待ちにしたいと思います。（銀座明倫館 代表・磯村）

## 叙勲者ご寄稿



### 終生 ところの財宝

平成二十五年秋叙勲 旭日小綬章受章

元葛飾区議会議員 中村武夫先生（東京・葛飾区在住）

終戦直後から昭和四十年代中頃迄は、国民の大半が低所得層で占められていた時代であった。例外に漏れず、戦時に父が病死して以来、母が二男児を必死に育ててくれた。

故に家事の営みは子どもごころに母の痩せ細る背中を見ながらであり、例えば紙芝居を見たいばかりに、いち早く拍子木を紙芝居語りの小父さんから預って、村の小径を巡り叩き報せる。そうするとご褒美に割箸に少し、多目に水飴を附して呉れるのである。紙芝居の小父さんが「僕の拍子木の叩き方が最も上手だね！」と一生懸命褒めてくれるものだからつい、学校内でも自慢をしてしまったり。



しかし、母のがま口を覗けば穴の空いた五円玉しか無かったこともあり、子どもごころにも参りましたね！ 真に心痛でありましたが、思えば此の時代は貧乏所帯が多く、特別に劣等感を抱く必要は無かった。

こんな社会状況であったので、中学卒業の大方は就職志向であった。丁度そんな時期に、

広大な土地に森永乳業工場が竣工されたのだ。

日本で初めて試みるモデル工場で、内外壁は真っ白、敷地地面は緑の芝生の絨毯で覆われた、観たこともない優美な珍景であった。全国から連日観光客、見学者が訪れ、それらをまた超美人揃ってのガイドたちが、近代的設備、全自動装備の工場内を引導する。白装束の従業員達は誇りと緊張をもって迎えたものである。



三年弱を経て惜しまれつつ退社した。従前より小生将来に目的を抱いていたのであった。

中学時代に得意であった英語を武器に、神田YMCA英語学校の門を叩いて全課程を終え、大學受験資格試験を受験し図らずも合格した。

感激したことがもうひとつある。試験の折、僕の席の前に人気上昇真っ只中に在る女優、吉永小百合が座していたのである。

その大女優と小生が、昨秋叙勲 旭日小綬章受章の機会に巡り逢った。此の偶然、何とも小生の無形の財産としている。

### 「明倫館通信」へのご寄稿・ご投稿をお待ちしております！

叙勲に関する事、日頃思うことなど、徒然なるままにご寄稿ください。文字数は400～600文字（原稿用紙1枚～1枚半）で、タイトルとご受章内容を明記の上、明倫館までご送付願います。いただいた原稿は社内にて審査・校正の上、「明倫館通信」および明倫館ホームページに掲載させていただきます。採用された方には素敵なギフトをお送りいたしますので、ぜひ奮ってご寄稿ください。

宛先：株式会社 銀座明倫館 「明倫館通信」係 まで  
〒104-0061 東京都中央区銀座 8-10-7 東成ビル 5F

## 叙勲者ご寄稿



### 高齢者の呼称

平成二十年秋 旭日双光章受章

北海道社会保険労務士会 名誉会長 本間秋光先生（北海道・苫小牧在住）

この度、「明倫館通信第一号」発行にあたり執筆を依頼され、惑いを感じながらも寄稿することと致しました。

近年、私にとって特に気になっている言葉がございます。それは、「前期高齢者」「後期高齢者」という言葉です。この用語は物の分別か選別のように聞こえ、余り耳ざわりの良い言葉とは思えません。



もっと高齢者に対して、さわやかで劣等感を持たせない、そして社会でまだまだ必要とされているという自覚を持てる、そんな言い方がないものかと思っていましたところ、何かでひょっと耳にした言葉がございました。

それは「大老」「中老」と言う言葉でした。「前期・後期高齢者」より、はるかに楽しく、成熟した雰囲気と歴史を感じさせられます。まさに人生の大御所として、家庭で父

母を敬う道德心と共通するものがあるかと思えます。先輩方が築きあげた「日本」はこれからも永々と長寿社会が続きます。もっと大老・中老達が、プライドを持って生きられる社会を……。



私は高齢者になったお陰で、社会貢献が認められ叙勲を賜りました。私にとっては高齢者になってからの貢献が報われたことで、“悔い”のない人生となりました。叙勲から五年、園遊会から二年の歳月が流れましたが、今後も健康なかぎり長い社会経験を生かし、少しでも社会のお役に立ちたいものと考えております。前後致しましたが、叙勲・園遊会と大変お世話になりました明倫館・磯村社長に感謝を申し上げ、この一期一会を大切にしたいと存じます。

## 明倫館特製 「園遊会招待状」専用額

毎年春秋2回、赤坂御苑で催される園遊会は、天皇皇后両陛下が政界・司法・行政に携わる方々と各界の功労者、叙勲者とその配偶者約2000人をお招きになって、親しくお話しになる社交会です。園遊会には限られた方のみご招待されるため、大変な荣誉ですので、記念としてその招待状を永く保存したいという声にお応えし、明倫館では専用額縁を揃えております。

「園遊会招待状」専用額のご用命は、  
フリーコール：0120-133-336 まで  
お問い合わせください。



# 銀座明倫館 特製長寿羊羹とは？

## 新商品 特製長寿羊羹

塩瀬総本家謹製の羊羹は甘さを抑えた上品な味わいで、和菓子になじみの薄い方や若い世代などにも広くおすすめできる逸品です。

今回、「叙勲のお返しとは別に、特製羊羹を注文したい」「お使い物や自宅用の品物に、菊の御紋章をお付けするのは畏れ多い」という声にお応えし、長寿の象徴とされる鶴亀モチーフを箔押しし、長寿祈念 銀座明倫館オリジナル商品として誕生しました。



## 「長寿」の秘密

あずきの色素に含まれるポリフェノールには特に強い抗酸化作用（生活習慣病や老化の原因と言われる「活性酸素」を除去する働き）があるとされ、現在研究が進められています。

またコレステロールや中性脂肪を抑える「サポニン」も含まれることがわかっており、長寿・健康を願う先人の知恵を裏付ける効能が、近年の研究で次々と明らかになっております。

特製長寿羊羹は北海道産のあずきを使用。すべて国産品の材料を使用しておりますので安心してお召し上がりいただけます。贈り物としてもご自宅用としても、自信を持っておすすめできるお菓子です。お中元、お歳暮にも気の利いた贈り物としてご活用ください。



特製長寿羊羹のご用命は、フリーコール：0120-133-336 までお申し付けください。

また、羊羹以外にも、長寿を祈念いたしましたトートバッグ、長寿箸、時計などもご用意いたしております。どうぞご期待ください。